

「未来の薬剤師」をテーマに 薬学生による公開シンポ

10月11、12の両日、滋賀県大津市で第42回日本薬剤師会学術大会が開かれ、「未来の薬剤師～未来へ繋がる新たな一歩～」をテーマに、薬学生による公開シンポジウムが実施された。シンポジウムでは、関野秀人氏（厚生労働省医薬品食品局）による薬剤師の役割についての基調講演や、薬学生が実施した国民アンケート結果の報告、現役薬剤師への突撃インタビューなどを企画。薬学生が各グループごとに、これらの発表の中から心に残ったキーワードを提出し、それらキーワードをテーマ別に整理した後に、現役薬剤師を交えてのグループディスカッションを繰り返した。



薬学生による公開シンポジウム

第42回日本薬剤師会学術大会

心に残ったキーワードでは、「在宅医療」「ネットワーク作り」「コミュニケーション能力」などが目立ち、総合ディスカッションで「積極的に患者に接する薬剤師を目指したい」との目標が示された。

基調講演で関野氏は、薬剤師に期待されている業務として、①処方せん調剤、情報提供、疑義紹介、在宅など医療の担い手としての行為②国への副作用報告・企業への情報提供③一般薬の販売④教育、普及、啓発、公衆衛生、社会の健全化——などを指摘。「国民の健康な生活を確保するための行為が、その基本理念にある」と強調した。

さらに、「医師に薬のアドバイスをして患者さんがよくなれば、薬剤師としての役割を果たしていると考えてよい」と語りかけた。

チーム医療についても言及し、「薬剤師が医療チームとして貢献することで、医師の負担が軽減できる。それには、医師、看護師らとの連携が重要になる」と強調した。

一方、「国民に関するアンケート結果」は、

田中積裕氏（立命館大学薬学部）と、村上恵里子さん（星薬科大学）によって報告された。

アンケートは、今年8月13日に大阪ミナミの心斎橋、14日に大阪府高槻市で実施したもので、403人（男性218人、女性182人、無回答3人）からの回答を得た。年代別では、20代が160人近くを占めている。

結果報告によると、「あなたは自分でどの薬をどのように決めているか？」（複数回答可）では、①医師の処方（315人）②自分の判断（126人）③薬剤師に相談（80人）④TV・CM（41人）——となった。

「あなたはどんな時に薬剤師を訪ねるか？」（複数回答可）では、①薬を処方されたとき（230人）②自ら訪ねたことはない（93人）③病気かなと思ったとき（63人）④健康に関するアドバイスがほしいとき（33人）——の順となった。

「身近に気軽に話せる薬剤師はいるか？」に「はい」が131人、「いいえ」が272人で、「国民と薬剤師の距離を感じた」（田中氏）という。

「はい」のうち、「それはどこの薬剤師か」の設問には、①保険薬局（49人）②家族・親族（44人）、③病院（13人）④ドラッグストア（12人）——と回答している。

「いいえ」と答えた人への「近くに気軽に話せる薬剤師が

薬を介してもっと国民のサポートを



左から田中氏、村上さん

いたらいと思うか？」の質問では、「はい」（230人）、「いいえ」（42人）だった。

「薬剤師から薬の説明を受けたことがあるか？」では、355人（88%）があると答え、そのうち346人（97%）が「安心して薬がのめた」と回答した。

「薬剤師として思い浮かべる姿」では、①調剤（171人）②薬の説明（135人）③白衣を着ている（85人）——が、「薬剤師にしてみたいこと」では、①健康相談（166人）②個人に合った薬を処方（126人）③食生活アドバイス（105人）④病院や医療機関の紹介（89人）——が挙げられた。

田中氏と村上さんはこれらのアンケート結果から、「薬を安心して使用するには、国民と薬の間への積極的な薬剤師の介入が重要になる。薬の知識だけでなく、プラスαの知識を持って、国民が健康な生活を送るためのサポートが求められている」と考察した。

これらの発表に基づいての「心に残るキーワード」では、「ネットワーク作り」「信頼感の構築」「薬剤師会への入会」「在宅医療への介入」を挙げる学生が目立った。さらに、総合ディスカッションでは、「他の医療スタッフや患者さんと向き合い、やりがいと熱い気持ちを持って薬剤師職能に従事することが重要」との方向性が示された。



グループディスカッションの様子

新たな一般用医薬品販売制度の施行に対応！

OTC DRUG Searcher

DVD版・CD版

定価：5,250 円(税込)

メンテナンス1回 1,050 円(税込)

《ASP方式のお問合せ》

株式会社 日本メディコム URL <http://www.nihon-medicom.co.jp/>
電話 03-5641-9050 FAX03-5641-9053

《制作・発売元》

株式会社 薬事日報社
<http://www.yakuji.co.jp/>

※DVD版（1枚）／CD版（6枚組み）の内容は同じです。
※メンテナンスは月1回。ご希望時に購入できます。
※Windows Vista、XP対応

注文専用FAX 03-3866-8408